

その他



宮城県 センコン物流(株) 『加工食品・水産品・農産品をロシア、ベトナムへ』

【主な品目】

加工食品(調味料、飲料、お菓子etc.)、
水産品、農産品

【主な輸出先国・地域】

ロシア(モスクワ、ウラジオストク)、
ベトナム(ハノイ、ホーチミン)等

【輸出取組の概要】

- ◆ これまでロシア極東地域を中心としていたが、モスクワでの販路開拓を目指した。
- ◆ モスクワでの展示会の出展(PIR EXPO、PROD EXPO)、大使館でのイベント出展。
- ◆ 宮城県事業受託によるベトナムのイオンモールでのアンテナショップ向け輸出・運営管理。展示会商談会サポート。

【輸出実績】(平成16年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	出荷時期
平成28年度	8,723	通年
平成27年度	7,311	
平成26年度	3,211	

【効果があった取組】

・展示会の出展。弊社では物流会社の側面も活かし、現地での物流費を含んだ卸価格を提示した上で商品提案ができるため、商談が成立しやすい。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 海上運賃が高額のため、現地で価格が合わない。現地の販路の開拓には時間を要するため、輸出量が一時的に減少した。
- ・ 法規制等が頻繁に変わるため、前回ベトナムへ輸出できたものが今回出来ない。また、前回必要なかった書類を求められるなどのトラブルが少なくない。

【生じた課題への対応】

- ・ メーカーとの直接の取引を増やし、原価を抑えた。自社での手配やケースマークの貼付をメーカーに依頼し、費用がかさまない工夫をした。卸先を増やすため、積極的に現地での営業活動を行った。
- ・ 現地カウンターパートとの細かい情報共有を怠らないよう、密に連絡を取り合っている。

【対応の結果】

- ・ 現地での販路が広がり、これまで小売商品が多かったが、業務用商品の引き合いも増えた。

【今後の課題・展望】

- ・ 西ロシア、極東地域へコンスタントな輸出、輸出量の増加。
- ・ 新規販路拡大。



2017.2.6 PROD EXPO



2017.2.3 在露日本大使館での「日本食材セミナー&交流セッション」



2016 イオンモールに設置したアンテナショップ

【活用した支援・施策】 宮城県・農畜産物輸出基幹品目販路開拓事業、ベトナム宮城県産品マーケティング支援事業

【ウェブサイト】 <http://www.senkon.co.jp/>

【連絡先】 担当者名: 平野(ロシア担当)、中田(ベトナム担当) TEL: 022-217-6841